

2023年3月2日  
サステナビリティ基準委員会  
国際サステナビリティ基準審議会

## サステナビリティ基準委員会と国際サステナビリティ基準審議会の代表者が 日本での二者間会合を初開催

サステナビリティ基準委員会 (SSBJ) と国際サステナビリティ基準審議会 (ISSB) の代表者は、2023年3月1日に、東京で二者間会合を開催しました。

今回の会合において、SSBJ と ISSB の代表者は、お互いの活動の最新の状況を提供するとともに、IFRS サステナビリティ開示基準 (ISSB 基準) の適用に関連する課題等について議論を行いました。

また、SSBJ の代表者は、日本のサステナビリティ開示基準の開発に向けたプロジェクト計画について概要を説明しました。

|   |      |                                |
|---|------|--------------------------------|
| 1 | 公開草案 | 2023年度中 (遅くとも2024年3月31日まで) に公表 |
| 2 | 確定基準 | 2024年度中 (遅くとも2025年3月31日まで) に公表 |

- 基準は、早期適用が可能となる予定です。強制適用の時期については、後日 SSBJ において議論する予定です。
- 目標どおりに確定基準を公表した場合、確定基準公表後に開始する事業年度から早期適用が可能となる予定です。ただし、SSBJ は、確定基準公表後に終了する事業年度から早期適用を可能とするかどうかについて議論する予定です。

SSBJ と ISSB は、引き続き意見交換を行っていく予定です。

川西安喜 SSBJ 委員長は次のように述べています。

「SSBJ を代表し、ISSB の代表者の皆様を東京にお迎えでき嬉しく思います。SSBJ は、ISSB 基準によって確立されたサステナビリティ関連開示のグローバル・ベースラインを基礎として、日本のサステナビリティ開示基準を開発することとしています。我々の基準開発において、我々は ISSB と緊密に連携することを楽しみにしています。」

エマニュエル・ファベール ISSB 議長は次のように述べています。

「日本は、ISSB、そして資本市場のためのサステナビリティ開示のグローバル・ベースラインを開発するという我々の使命に対して、声をあげて強力な支持を表明してきました。私は、SSBJ が ISSB 基準を日本の要求事項に取り込む計画を賞賛しており、我々の生産的な議論を基礎とすることを楽しみにしています。」

## サステナビリティ基準委員会（SSBJ）について

サステナビリティ基準委員会（SSBJ）は、2022年7月に公益財団法人財務会計基準機構（FASF）の下に設立されたプライベート・セクターの機関です。サステナビリティ開示基準の法的枠組みは、金融庁が決定することとなっており、SSBJはその枠組みが設定された後に、その枠組みに沿って国内基準を開発することとなります。SSBJは、国際サステナビリティ基準審議会（ISSB）の Jurisdictional Working Group（JWG）のメンバーであり、サステナビリティ基準アドバイザー・フォーラム（SSAF）の初期メンバーの1つに選任されています。SSBJに関する詳細な情報は、ウェブサイト(<https://www.asb.or.jp/jp/>)をご参照ください。

## IFRS 財団について

IFRS 財団は、公益のために、高品質で理解可能な、執行可能な国際的に認められた会計基準及びサステナビリティ開示基準を開発するために設立された非営利組織です。我々の基準は、国際会計基準審議会（IASB）と国際サステナビリティ基準審議会（ISSB）の2つの基準設定審議会によって開発されています。IFRS 財団の詳細については、<https://www.ifrs.org/>をご参照ください。

以 上